

24 盛 議 号 外  
平成 24 年 11 月 22 日

盛岡市議会議員 各位

盛岡市議会議長 村 田 芳 三

要望書の送付について

このことについて、次のとおり要望書が提出されましたので、その写しをお送りいたします。

1 要望書提出者

盛岡市建設業協同組合理事長

中村 康彦

2 要望書 別添のとおり

# 要 望 書

盛岡市議会議長 村田芳三 様

盛岡市建設業協同組合



## 平成25年度建設業振興に関する要望

平素は、地元建設産業の育成にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、先の東日本大震災における被災者への生活支援や被災地の復興に向けた活動の後押しなど、県都盛岡として積極的に取組まれておられますことに、多くの市民が協賛していると存じておるところでございます。

さて、岩手県内における建設産業の状況は、東日本大震災の被災地復旧・復興の仕事量が急激に増加したことにより、現状における市場の資材及び労務単価と設計単価の格差が大きくなり、工事価格にも深刻な影響を与えているところでございます。

このような状況の中で、盛岡市建設業協同組合では、安全で安心な市民生活を維持・向上のため建物や道路など社会基盤の整備をはじめ、当組合企業による地域雇用の確保、地元経済の発展に貢献しているものと存じておるところでございます。

また、盛岡市との「災害時における応急対策業務に関する協定」のほか、市の総合防災訓練への参加、道路除排雪や工事安全パトロールなど地域への貢献活動にも積極的に取り組んでおります。

しかしながら、国政による公共事業の削減や事業量の減少が続いたため、リストラや廃業・転業、新分野進出などで生き残りを図って来た建設業界が、復興工事量増加のため需要と供給のバランスが崩れ、今までにない企業経営環境に置かれているところでございます。

さらには、入札による建設業者間の受注競争は激しくなっており、厳しい価格で工事を受注せざるを得ない状況を強いられております。

このような状況をご賢察いただき、魅力ある建設産業育成と、元気で活力あるまちづくりのため、公共投資などによる社会資本の整備になお一層のご配慮をいただきたくご要望申し上げます。

平成24年11月20日

盛岡市松尾町 17 番9号

盛岡市建設業協同組合

理事長 中村 康彦



## 要 望 事 項

- 1 新市建設計画に基づく事業を計画通り実施するとともに、市民生活に直結する総合的な建設関係予算を積極的に編成していただきたい。
- 2 工事発注に当たっては、地元企業に優先発注するよう配慮していただきたい。
- 3 安価な受注による工事の品質の低下防止を図り、安全な施工を遂行させ、若手技術者・技能工育成と企業経営に必要な経費を確保するため、最低制限価格の引上げとなるよう見直していただきたい。（設計金額の90%以上）
- 4 震災による復旧工事が本格化する中で、下請労務者や交通誘導員が不足しており入札不調の一因ともなっております。  
早期発注・発注時期を平準化することなどにより、専門技術者の確保や資材調達の安定化、入札不調への対策ともなりますことから考慮していただきたい。
- 5 適切、優良な工事实施のため、次の入札・契約制度の見直しについて鋭意検討願いたい。
  - (1) 総合評価落札方式は、徐々に拡大していただきたい。
  - (2) 冬期間の掘削工事については、掘削規制期間等について道路管理者間で冬期間協議の上、早急に発注されるように願いたい。
  - (3) 資格確認申請書の提出を求める場合、数社に通知があり、落札決定が公表されるまでの数日間、次の入札公告に参加するための条件対応に積極的に取組めないことや、発表待ちで精神的なストレスも生じますことから1番目の1社のみ通知となるよう見直していただきたい。
  - (4) 入札に係る見積日数について、特定工事及び資材が含まれる場合、特定業者に見積を依頼することとなりますが、特にもお盆期間は特定業者も長期休暇となることから、お盆前に入札となるよう考慮していただきたい。

- 6 適切、優良な工事实施のため、次の設計積算について鋭意検討願いたい。
- (1) 震災による復旧工事の影響により、建設資材の価格上昇や専門工などの人件費の上昇などが原因で入札不調にもつながっています。  
設計書の作成に当たり、実勢単価を十分把握いただき、現状の市場単価採用となるよう考慮していただきたい。
  - (2) 指示・協議などに基づく変更工事について適切な設計変更の対応をしていただきたい。
  - (3) 除雪機械のリース料金を新たに加算していただきましたが自社保有機械も同様となるよう、また、油代上昇やオペレーター不足を考慮し除雪単価の引き上げとなるよう見直していただきたい。
  - (4) 道路使用許可を必要とする工事で、施工歩掛を考慮して設計単価に反映されたい。
  - (5) 残土処理量の多い現場では、自由処分ではなく指定にしていきたい。  
無料で捨てられる場所はほとんどなく、有料でも見つけられることが難しい状況であるため、是非とも指定していただきたい。
  - (6) 設計書に記載されている重機規格が、現地に搬入出来ない規格で積算計上されている事例がありますので、現地調査を十分確認いただき、現状に応じた重機の機種選定をしていただきたい。
- 7 盛岡市の地域経済活性化対策の一環として、平成23年度から開始していただいています住宅リフォーム助成制度の実施を、25年度も引続き実施していただきたい。  
また、住宅リフォームの施工業者は「市内に本店があること」や、「敷地内土工事」も可能となるよう新たに加えていただきたい。
- 8 盛岡市内の道路は、まだまだ狭いので歩行者の安全確保のため、各路線の拡幅と歩道設置の更なる整備推進が図られるよう配慮していただきたい。